

このたび、MEDINT では母語が日本語でない医療通訳者のための日本語講座を ZOOM で開催することになりました。医療通訳経験を持つ日本語教師、母子保健の専門家が、妊娠、出産、新生児のケア、小児健診などで通訳する際に必要な日本語について研修を行います。

医療用語であれば辞書に載っています。しかし母子保健の通訳を行う場合、日常の微妙な言い回しを使う場面が多くあります。なぜお風呂には「お」が付くのに、シャワーには「お」がつかないのかなど。

現在実施されている医療通訳講座は日本人医療通訳者向けの外国語の講座がほとんどですので、外国語を母語とする通訳者の皆さんは是非ご参加ください。

母子保健現場での通訳ですので、実際通訳する女性限定で実施いたします。

やさしく学ぶ 母子保健の日本語

母語が日本語でない 医療通訳者のために

申込方法

☆下記リンク・QRコード先の申込フォームより

<https://medint.jp/application-form/>



☆申し込みフォームの勉強したい理由を書く欄はできるだけ詳しく書いてください。

☆自動返信後、事務局からの確定メールによりご参加決定となります。

☆申込締め切り：2022年1月15日(土)12:00まで。
(申し込み人数が多い場合は抽選します。)

☆定員：15名(女性通訳者に限定)

☆参加費：無料



医療通訳研究会 (MEDINT)

ホームページ：
<https://medint.jp/>



1回目：2022年1月30日(日)
10:00-12:00

妊娠と妊婦健診

2回目：2022年2月6日(日)
10:00-12:00

出産前後

3回目：2022年2月20日(日)
10:00-12:00

子どもの健診と療育医療

講師：斎藤裕子（さいとう ひろこ）

大阪府出身。日本語教師。神戸で中国帰国者の日本語学習支援。2003年から大阪市平野区で地域日本語ボランティア教室を開き、「日本語教室」、「子育て日本語サロン」、「外国ルーツの子どものための学習サポート」などの活動をしている。また、学校の先生や保育士・保健師・地域の防災リーダーなどの方々に、「外国人にやさしい日本語でつたえるコツ」を広める活動もしている。

日中対訳の「医療用語集」、「介護用語集」、「学校用語集」、「子育て用語集」などを作成。共著に『多文化子育てガイドブック—日本語でつたえるコツ』（社福 大阪ボランティア協会発行）などがある。



企画立案：尾添和美（おぞえ かずみ）

大阪市出身。中国留学、日中合弁会社勤務を経て、夫の転勤により双子を連れて北京で9年生活。帰国後、神戸市内の産婦人科クリニックで病棟クラークとして働いたことをきっかけに医療方面への興味をつのらせ、AMDA 国際医療情報センターで中国語通訳としてボランティアを始める。その後 MEDINT、FACIL にも参加。現在、遠隔医療通訳を行う東和通訳センターで中国語通訳として働き7年目となる。

国際臨床医学会（ICM）認定医療通訳士

講師：岸和田谷悠子（きしわだや ゆうこ）

1984年生まれ。和歌山市出身。

自身の出産を機に助産師を目指し、2012年に助産師となる。

その後、大阪市立大学医学部附属病院 産科病棟で勤務。

現在は同病院 NICU にて勤務。地域では在日外国人との国際交流、及び外国人留学生のホームビジット受け入れなど、ボランティア活動をしている。

日本国際看護師

NCPR インストラクター

ICLS/ACLS インストラクター

すいな式乳房ケア取得

すいな式ベビーマッサージ講師